**市政トピックス**

**●職場体験で働くことの楽しさや厳しさを実感しました**

7月4日、職場体験学習で吉野作造記念館へ訪れた古川中学校2学年の生徒3人が、「子育ての昔と今」の展示品の紹介文とパネルづくりを行いました。

　職場体験学習とは、市内のさまざまな職場・事業所に分かれ、実際に自分たちが仕事を体験する学習で、古川中学校2年生全員が参加しました。

　吉野作造記念館では、毎年古川中学校の生徒を受け入れており、3人の生徒たちは受付と児童文学の紹介文の作成を行いました。それぞれ3つの児童文学の資料が配られ、内容を理解しながら読んでいました。そして、見た人が分かりやすく、関心を持ちやすいような内容を３００字から350字以内でまとめるという条件で、児童文学の紹介文のパネルを作成していました。

　生徒たちは、お客さんと接する楽しさや、仕事の難しさを実感できた体験でした。紹介文は吉野作造記念館に８月６日まで展示される予定なので、ぜひ見に来てください。

写真：児童文学の資料を読み、理解を深める生徒たち

この記事はわたしたちが作成しました

市役所で広報紙づくりを体験した、古川中学校2年生の角田瑞季さん(写真：右)と岡千智さん(写真：左)。取材から編集まで、ひととおりの作業を体験しました。

写真：児童文学の資料を読み、理解を深める生徒たち

**●地域の安全を守る大崎市消防団演習**

７月２日、田尻中学校校庭において、平成29年度大崎市消防団演習が行われました。気温30度を超す猛暑の中、大崎市消防団員1400人が参加し、機械器具点検や部隊訓練、ポンプ操法、分列行進などの各種訓練を実施しました。

　大崎市消防団演習は2年に1度、全地域の団員が集結し、地域の安全・安心を守るため、消防意識・技術の向上を目的に実施しています。定期的な訓練と点検が、万が一の災害時に市民の生命や財産を守る個々の力、組織の力を培います。

　また、9月30日に秋田市で開催される「第23回全国女性消防操法大会」に、宮城県代表として出場予定の女性消防団員が、軽可搬ポンプ操法を披露しました。女性団員は4月から訓練を始め、これまでに20回を超える訓練を実施しました。初めての演習参加で訓練の成果を十分に発揮し、その洗練された動きに、会場内の2800を超える瞳が釘付けになっていました。全国大会での女性団員の活躍が大いに期待されます。

写真1：水の勢いに負けず、力強くホースを操作する女性消防団員

写真2：地域の安全を守る消防団員1,400人が集結

**●7月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 2日 | ●大崎市消防団演習 |
| 5日 | ●大崎市道路クリーンキャンペーン出発式●優良工事表彰授与式●藤岡奈穂子選手・世界タイトルマッチ大崎大会実行委員会 |
| 6日 | ●社会を明るくする運動推進大会 |
| 8日 | ●「宝の都（くに）・大崎」2017プレミアム商品券発売記念セレモニー |
| 10日 | ●大崎市の花・木・鳥等普及事業に関するパートナーシップ会議 |
| 14日 | ●大崎市総合計画審議会 |
| 16日 | ●新図書館内覧会 |
| 20日 | ●新図書館開館●新図書館オープニングセレモニー●大崎市農業委員会総会 |
| 22日 | ●宮城大学移動開放講座開講式 |
| 28日 | ●おおさき中学校生徒会サミット |

写真：宮城県物産振興協会の優秀技能者表彰を受けた、漆職人の佐藤建夫さん（右）

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

**●岩出山発　あ・ら・伊達な熱気球 デビュー！**

7月1日、岩出山地域池月地区にある「あ・ら・伊達な道の駅」で熱気球係留搭乗体験がスタートしました。

　高さ約30m、重量が721㎏もの熱気球は、東北でも最大級の大きさです。約20m上昇するバスケットには約5人まで搭乗が可能で、鳴子温泉地域や岩出山地域など、世界農業遺産認定を目指している広大な大崎耕土を臨むことができます。

　搭乗体験は、毎週金曜日から月曜日の８時30分から10時30分まで毎週開催されます。（天候によって中止する場合があります）

写真：岩出山の空に浮かぶ熱気球（右）と搭乗体験を楽しむ来場客（左）

**●松山発　晴天の中、楽しむカヌー体験**

7月8日、松山地域下伊場野地区にある水辺の楽校河川敷で、下伊場野小学校の全校児童20人と保護者がカヌー体験を行いました。

　親子でのカヌー体験は初めての取り組みで、講師からライフジャケットの正しい着方、自然に親しむ安全な遊び方などを教わりました。初めは思い通りに動かせなかったカヌーも、だんだん慣れてくると自在に動かせるようになって、川の流れにまかせたり、上流に向かって力いっぱい進んだりと、親子で大はしゃぎしながらカヌーを楽しんでいました。

写真：安全な川遊びの楽しみ方を教わり、スイスイとカヌーをを漕いでいました。

**●古川発　行きつけの店も、初めての店も、楽しいお酒で乾杯**

7月15日、古川地域中心部の飲食店街で、おおさきはしご酒ラリーが開催され、約300人がお酒を楽しみながら交流を深めました。この催しは今年で4回目となり、古川東大崎地区振興協議会を中心とした実行委員会が、地域の活性化や交流などを目的に開催しています。

　参加者たちは、居酒屋やスナックなどの飲食店42店舗のうち指定された5店舗を1軒ずつ巡り、各店舗で提供される「はしご酒特別メニュー」を楽しんだり、居合わせた参加者同士で会話を弾ませていました。ラリー終盤に、ほろ酔いの足取りで歩いていた3人組は「初めてのお店に行けるのも楽しいね」と、次に指定された店の場所を探していました。

写真：居合わせた参加者同士で乾杯！